

イメージに適したBGMの制作と活用事例

キーワード：BGM、マルチメディア技術、ビデオ

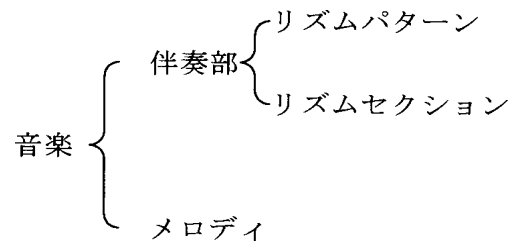
はじめに

近年の情報化の趨勢は、文字情報主体から視覚情報や聴覚情報をミックスしたマルチメディアへと進んできています。このような多種多様の情報をよりイメージ的にとらえ、また具体的に・直感的に把握するのに視覚や聴覚に訴えることは有効であり、それを可能にした近年のコンピュータや周辺機器の技術進歩には、目を見張るものがあります。映像や音楽も、コンピュータ上でデジタル化された情報として、さまざまな目的と状況に応じて手軽に取り出し、簡単に修正できることになり、これまでプロでないとなかなかできなかった高度な編集作業を素人にも開放しつつあると言えます。こうして、音楽を制作するための技術的な環境は整ってきているものの、音楽をBGM(Back Ground Music)として用いるには、映像に合わせた時間の調節や著作権による使用制限など、戸惑うことが多いものです。最近では、著作権フリーソフトが音楽ソフト販売店におかれるようになってきていますが、その内容は奇をてらったような効果音のたぐいも多く、実用的なBGMは今後徐々に増えてくると思われますが、まだ少数です。

ここでは、BGMの制作方法とその活用事例を示します。

BGMの制作手順

音楽を聞く際にポイントを置く箇所は、メロディであったりリズムであったり、テンポであったり音色であったり人によってさまざまですが、ここでは、鑑賞を目的としないBGMを制作する方法として音楽を次のように分けます。



制作に際して、伴奏部が基本でメロディを付属的なものとみなし、あらかじめBGMのおおまかな骨組みとして伴奏部を作っておき、映像の目的や状況に応じてメロディなどを付加したり手直しを行います。これによって、簡易かつ短時間でオリジナルなBGMができます。図1にBGMの制作手順を、図2にリズムパターン、図3にリズムセクションの一例を示します。

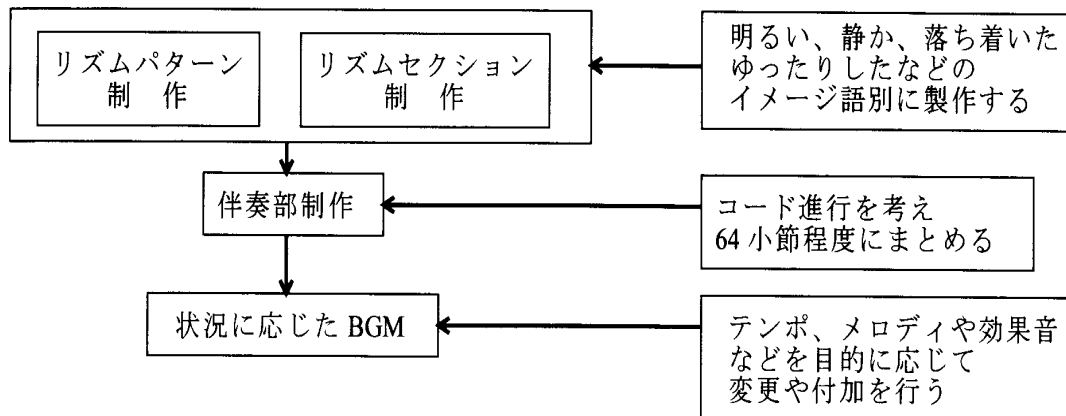


図1 BGMの制作手順フロー



図2 リズムパターンの一例（イメージ語：ゆったりとした）



図3 リズムセクションの一例（イメージ語：軽快な）

活用事例

当研究室では、ビデオ制作において映像作品をより効果的にするために、BGMを有効に使ってきました。たとえば、製造機械の商品紹介・宣伝ビデオのように単調な映像を見ているだけでは退屈したり間延びした感じになってしまうものも、軽快な音楽を付加することで機械操作がスムーズに運んでいるように感じられます。また、インパクトのある効果音を添えるだけで、見る人の気を引きつける作用をもたらすことができます。これまで制作したビデオをBGMのイメージとともに列挙します。

軽快なイメージ：

- ・鍍金工程の紹介ビデオ
- ・鋳造工程の紹介ビデオ
- ・硝子を扱う企業紹介ビデオ

落ち着いたイメージ：

- ・研究室・実験室の紹介ビデオ
- ・生産管理の教育用ビデオ
- ・測定や実験風景のビデオ

淡々としたイメージ：

- ・図・表、ナレーションが豊富なビデオ
- ・映像の場面変化が多いビデオ
- ・現場の工程が多彩なビデオ

今後の利用方法

BGMの制作は、ビデオのような実用的成果物を支援するシステムに活用できるだけでなく、音環境のデザインに関する研究への応用が可能です。生産技術の高度化によって職場におけるテクノストレスの問題が深刻になってきており、現場・事務部門を問わず、働く人の心理状態や場所・時間帯を考慮した適切な音や音楽を試作し、それらによって精神的リラクゼーションと活性化を図ることができるよう、企業イメージにふさわしい音環境づくりを考えていく、言い換えれば、職場環境の能動的なアプローチをサポートするために活用することができます。